

世羅町のコウノトリの現状と課題

20240715 「コウノトリの生息を支える市民交流会」

広島県世羅郡世羅町
コウノトリ保全地域協議会
会長 竹内政彦



広島県

広島東洋カープ・サンフレッチェ広島・広島交響楽団
原爆ドーム、厳島神社(宮島)が世界文化遺産
お好み焼き、牡蠣、レモンなどが有名

広島県

世羅町

コウノトリの間では、
ため池が、兵庫県に次いで多い県で有名 (^。^)

世羅町

地形

- ・世羅台地として有名（隆起準平原、350m～450m）
- ・日本海、瀬戸内海に流れる河川の分水界
- ・なだらかな山の中に多くの谷が入くんだ地形
- ・日本の重要湿地500選（ほとんどが湧水湿地）

世羅町

なぜ、コウノトリは世羅町に営巣したのか？

- ・コウノトリに聞いてみたい。
- ・入くんだ谷には、田や水の溜まった休耕田があり、エサとなるカエル、イモリ、ヘビが多く生息している豊かな自然環境と認めてくれた?!

営巣の電柱の位置



世羅町

さらに拡大してみると

康德寺


村社八幡神社

世羅町立世羅中

営巣した電柱

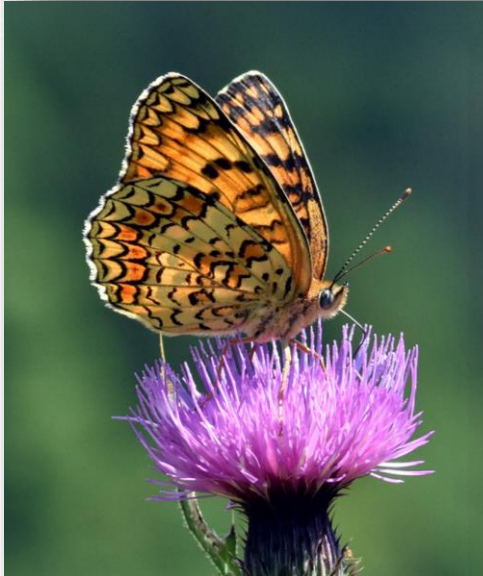
標高354m





高圧電線には被覆を
してもらった

別の角度から、世羅町の特徴



世羅町でのコウノトリの目撃情報（2020年～）

年月日	内容
2020年 4月15～18日	世羅町青水において確認 J0187（2018年3月31日 兵庫県豊岡市百合地巣塔生まれ 2才メス）
2021年 9月26日～10月1日	世羅町津口、賀茂において確認 J0257（2019年5月27日 福井県坂井市内 野外生まれ 2才メス） J0330（2020年6月6日 京都府京丹後市永留巣塔生まれ 1才メス） J0304（2020年4月18日 島根県雲南市仁和寺巣塔生まれ 1才メス）
2022年 3月2日～10月位まで	世羅町黒淵、中原、堀越等 J0380（2021年5月10日 福井県越前市下中津原巣塔生まれ 0才メス） J0456（2022年4月25日 兵庫県養父市伊佐巣塔生まれ 0才メス） J0457（2022年4月25日 兵庫県養父市伊佐巣塔生まれ 0才メス） J0317（2020年4月29日 兵庫県豊岡市水上巣塔生まれ 2才オス） ※J0456とJ0457は姉妹。2022年7月に巣立ち

2023年2月27日 世羅町寺町で巣作り確認

2024年1月19日 世羅町の別の電柱で
巣作り開始、3回撤去
→ 昨年と同じ電柱に営巣



2023年4月2日産卵

2024年3月11日～14日産卵




2023年5月4日 3羽ふ化 → 順調に育つ

2024年4月16日 1羽ふ化 → 2個の卵は落下





2023年5月26日 なかよしサンバ 撮影:稲住正明

A photograph of three storks standing on a nest made of dry sticks. The stork on the left is white with black wings. The middle stork is also white with black wings. The stork on the right is white with black wings and a black cap on its head. Each stork has a red tag on its leg. The background is a clear blue sky.

羅々(らら)J0548 メス

希羅里(きらり)J0549 オス

喜羅(きら)J0662 オス

2023年7月11日 すくすく育つヒナ 撮影:稲住正明

2023年7月11日 巣立ちの前日 巣の上で飛ぶ練習

撮影: 稲住正明



2023年7月12日・13日 巣立ち

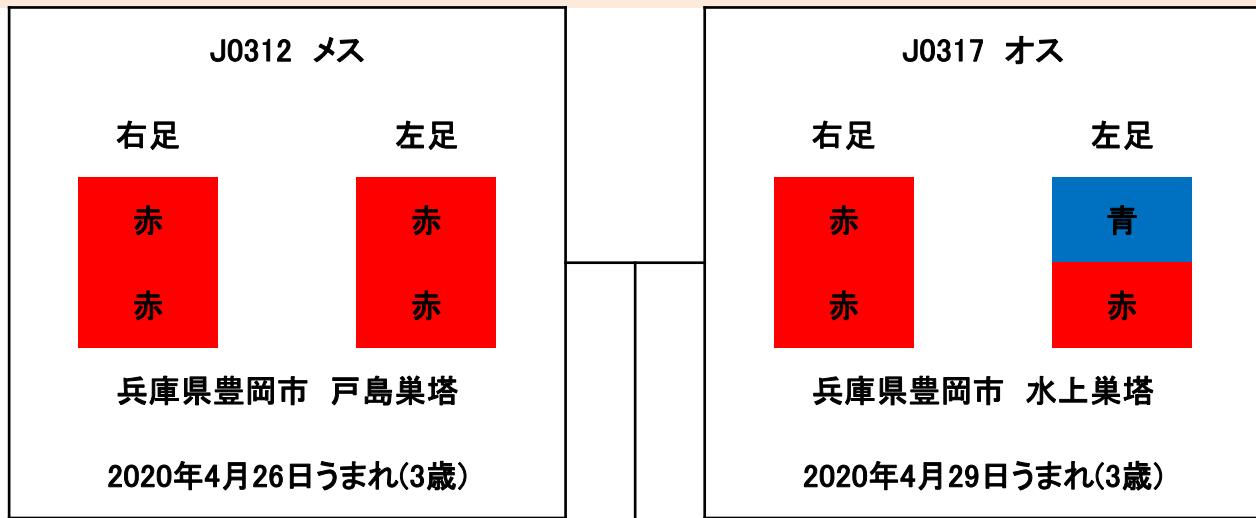
2024年6月21日 巣立ち



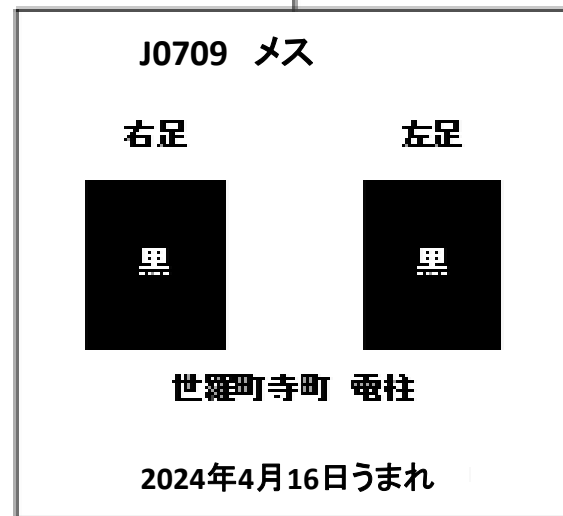
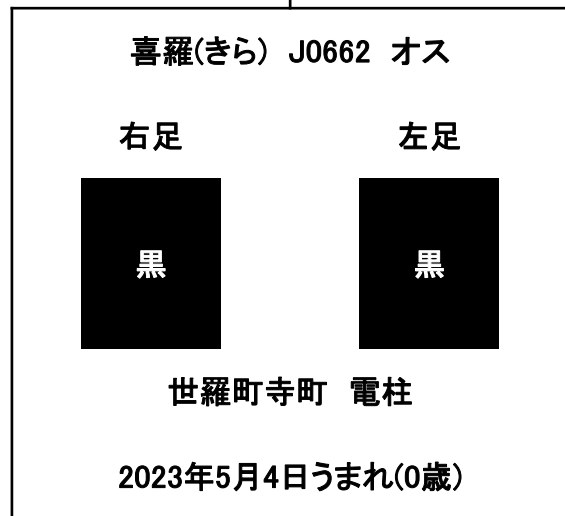
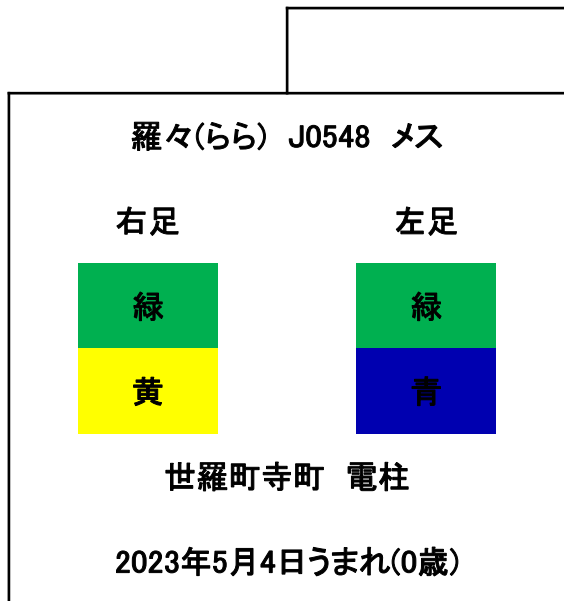
コウノトリ保全地域協議会会長 竹内政彦さん撮影

7月13日

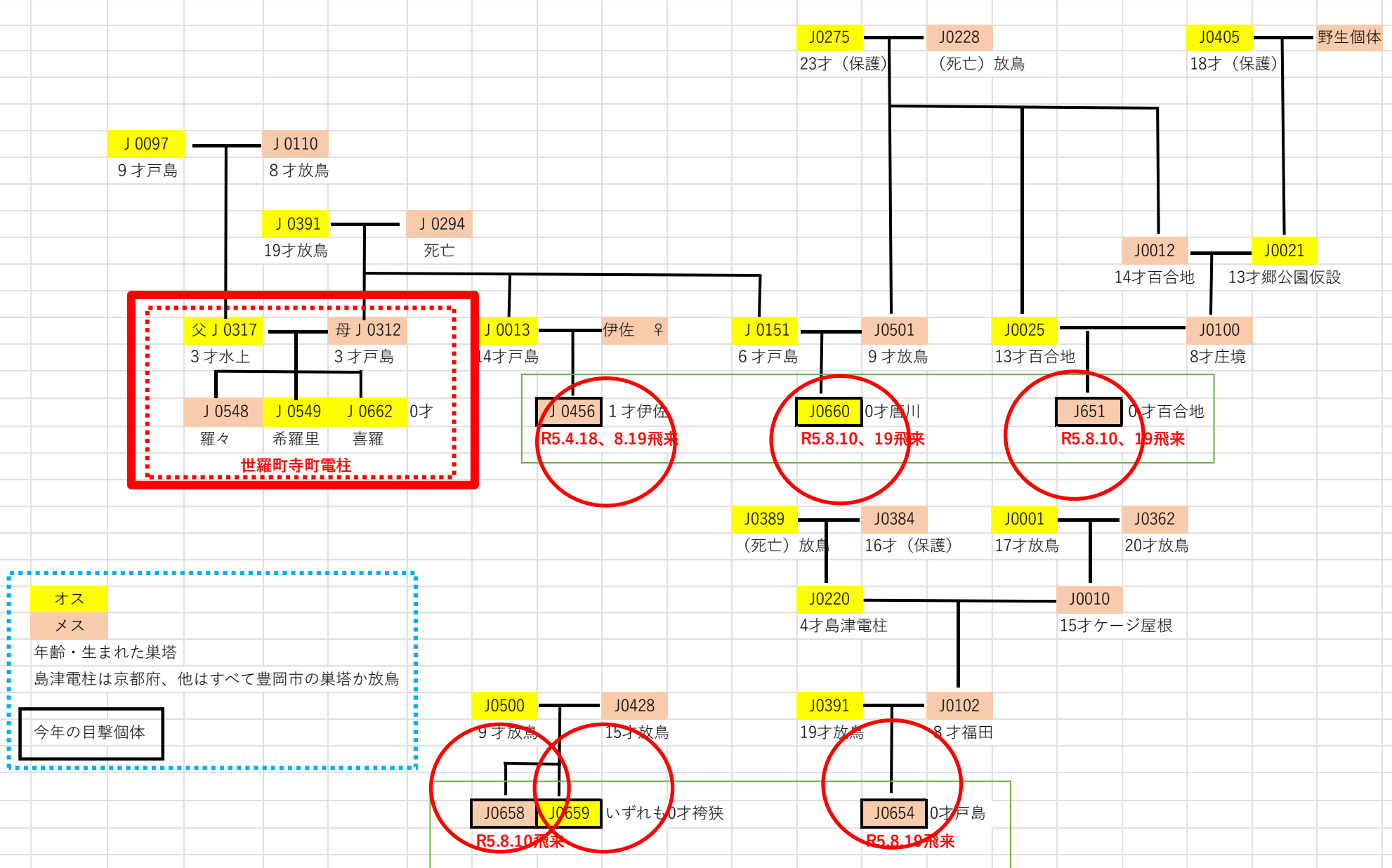
2023年 世羅町コウノトリ家族



2024年 一羽の家族が増えた



2023年世羅町で営巣したコウノトリと、ヒナといっしょにエサ取りをしたの家系図



世羅台地で普通の光景(2023年9月上旬)



世羅町教育委員会林光輝さん撮影



9月2日徳光さん撮影

2023年8月以降の観察記録、目撃情報

- 8月は、豊岡から、同じ年に生まれたコウノトリが飛来して一緒に行動(多い時で9羽)
- 8月～9月中旬は、巣から500m圏内の田んぼ
- 9月中旬は、巣から3kmくらい離れたの田んぼ、ため池
- 9月下旬は、巣から5kmくらい離れた田んぼ、ため池
- 10月初旬から中旬は、世羅町から30km離れたため池、田んぼ
- オス親は、11月から兵庫県加古川周辺で目撃情報
- メス親、11月下旬から九州で目撃情報
- ヒナたちは、12月から鳥取県で目撃情報

2024年1月28日

世羅町の補正予算で人工巣塔の設置

巣の上に止まってくれるけど、、、残念ながら
2年目の今年、人工巣塔では巣作りをしてくれなかった

これからの課題

- **設置した人工巣塔への誘導**
周辺の水地化、ビオトープ化、電柱への巣作り防止などの対策を検討中
- 親やヒナがどこでエサを食べたり、どこで寝泊まりしているか等の**生活場所の調査**
- エサとなりうる**絶滅危惧種ダルマガエル**の保護
- 「来てくれてうれしい」から、コウノトリとエサとなる生き物、人との共生を考えていく。
コウノトリも住める豊かな環境 → **「生物多様性せら戦略」への反映**
- 子どもたちの**学習教材**の作成
- **愛称の募集**
- コウノトリ保全地域協議会の**活動資金の捻出**
寄付金を募る観察会の開催、各種助成金への応募等検討



終わり

未来に向かってはばたけ！